

JCI プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会 第2回幹事会議事録(案)

開催日 2007年6月18日(月) 15:00~17:30

場所 JCI 会議室

出席者 万木正弘、国府勝郎、北辻政文、森田秀明、中田善久 (欠席者:月永洋一、久田 真)

記録者 中田善久

会議資料

幹2-0 プレキャストコンクリート委員会第2回幹事会(議事次第)

幹2-1 プレキャストコンクリート委員会第1回幹事会議事録

幹2-2 JCI-TC071A プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会の設置趣旨

幹2-3 プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会・委員の名簿

議事

1. 前回議事録の確認

議事録中の国府顧問を國府で統一することとし、前回議事録の確認を行った。

2. 委員会報告

北辻幹事長より、資料(幹2-2)に基づき研究委員会からの要望として、次のことが報告された。

- ・ 民間の委員を多く採用する。
- ・ プレキャストコンクリート自体が欧米に比べて使用量が少ない原因について調査する。
- ・ 留学生やドクターコースの学生を委員にして欲しい。
- ・ 委員の人数は、予算内であれば人数の制限はない。

さらに、委員の公募状況が報告され、委員の追加を行うこととし、20日に北辻幹事長が案を作成し、幹事にメールすることとした。

3. WGの活動計画

北辻幹事長から、WG1~WG4内容について説明があり、審議された。

(1) WG1 設計方法(組立・接合法を含む)

海外の使用状況などを調査してとりまとめていくこととする。久田主査が忙しいので北辻幹事長がサポートすることとした。

(2) WG2 実態調査

土木・建築を含めて現場と工場に間で生ずる問題などについてアンケートで調査する。

(3) WG3 技術者養成

製造施工管理、インターロッキング、プレストレスなどのように多種にわたり、どんな技術者を育成していくか具体的に進めていくことが難しいため、保留とした。次年度以降に考える。

(4) WG4 リサイクル材等利用

再生骨材のL, M, Hのうち、東北ではMはプレキャストで使える方向で考えている。

(5) その他

次のような内容が話し合われた。

- ・ PC自体のLCAの評価はどのように考えるか?
- ・ 文献調査は行うのか? それぞれのところで・・・
- ・ 10/19の研究委員会で中間報告する必要がある。
- ・ シンポジウムあるいはパネルディスカッションを行う方向で考える。
- ・ これからの公募の方は10月の承認を得て、通信委員は事務局が確認する。
- ・ 予算概要を北辻幹事長が検討する。

4. 今後のスケジュール

全体委員会として7月10日(火)17:30から仙台で行うこととした。会場等はメールにて案内する。このときに、各WGの主査は活動計画を説明する。